

自動タイプ

給湯暖房機

(BL認定品)

取扱説明書

エックスジェットオート

保証書付

JET AUTO

設置方式	型番	型式名	BL品番	号数
ハーフタイプ 屋外設置形	135-T700型	GH-247AAWS	XD-4205LRSJWQ	24号
	135-T702型	GH-247AATS	XD-4205LRSJWQ	
	135-T703型	GH-247AATNS	XD-4205LRSJWQ	
	135-T705型	GH-247AABS	XD-4205LRSJWQ	
	135-T710型	GH-167AAWS	XD-2804LRSJWQ	16号
	135-T712型	GH-167AATS	XD-2804LRSJWQ	
	135-T713型	GH-167AATNS	XD-2804LRSJWQ	
	135-T715型	GH-167AABS	XD-2804LRSJWQ	
コンパクトタイプ 屋外設置形	135-T720型	GH-167AAW	XD-2804KRSJWQ	16号
	135-T722型	GH-167AAT	XD-2804KRSJWQ	
	135-T725型	GH-167AAB	XD-2804KRSJWQ	
屋内設置形	535-T728型	GH-A167AAF	XD-2804KFSJWQ	

535-T728型は『消費生活用製品安全法』に指定された特定保守製品です。『消費生活用製品安全法』については添付のチラシをご覧ください。

このたびは給湯暖房機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよく読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年をお知らせください。



写真は135-T720型

もくじ

	ページ
この製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	8

ご利用前の準備	12
機器の準備	12
リモコンを「入」にする	13
現在時刻を合わせる	13
省電力機能について	14

お湯を使うには	15
デラックスタイプふろアダプター使用時	17
自動でおふろを沸かすには	17
残り湯を沸かし直すには	19

ふろ温度をセットするには	20
ふろ水位をセットするには	21
チャイムや音声ガイドの音量を調節する	22

デラックスタイプふろアダプター使用時	
おふろのお湯を熱くするには(追いだし)	23
おふろのお湯をぬるくするには	25
おふろのお湯を増やしたいときには	26

スタンダードタイプふろアダプター使用時	
自動でおふろを沸かすには	27
残り湯を沸かし直すには	28
おふろのお湯を熱くするには(追いだし)	29

おふろが沸く時刻を予約するには	31
暖房運転をするには	33
放熱器の運転/停止	33
暖房スイッチ付き所りモコンでの運転/停止	33
浴室予備暖房について	34
浴室予備暖房スイッチ付台所りモコンでの運転/停止	34
連動について	35
暖房静音について	35
暖房静音の設定/解除	35

冬期の凍結予防をするには	36
点検のポイント・お手入れのしかた	39
故障かな?と思ったら	41
アフターサービスについて	44
仕様一覧	45
保証書	裏表紙

お使いいただく前に

はじめて使ったときには

使用方

長くお使いいただくために

大阪ガス

この製品の特長

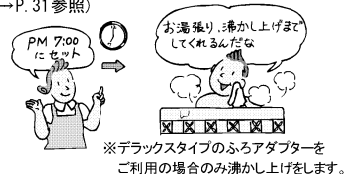
快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

●おふろもシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。

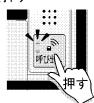
●スイッチオン!の簡単操作でおふろが沸かせます。
デラックスタイプのふろアダプター(→P. 17参照)
スタンダードタイプのふろアダプター(→P. 27参照)

●予約タイマー付きだから、忙しい方もお好きなときにバスタイム。
(→P. 31参照)



●浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押す



※138-T313型の浴室リモコンには呼び出し機能が付属されていません。

環境にもやさしい!

●リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
※出荷時の省電力モードは「入」になっています。
(→P. 14参照)

快適です!

●おふろのお湯の温度を自動的に保温します。
いつも快適なおふろです。
(→P. 17参照)



※デラックスタイプのふろアダプターをご利用の場合のみ保温ができます。

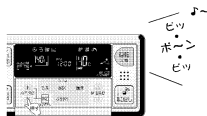
デラックスタイプ	スタンダードタイプ
保温ができます	保温できません

●この機器は、取り付けのリモコンのタイプをお選びいただけます。

型番	セット内容
138-T310型	浴室リモコン・台所リモコン(厨房スイッチなしタイプ)
138-T311型	浴室リモコン・台所リモコン(厨房スイッチありタイプ)
138-T312型	浴室リモコン・台所リモコン(浴室予備暖房スイッチありタイプ)
138-T313型	浴室リモコン単品(呼び出しスイッチなしタイプ)
138-T316型	増設リモコン

●リモコンの設定は、基準値を音の違いでお知らせします。

項目	基準値
時刻	PM11:00
給湯温度	40℃
ふろ温度	40℃
保温時間	4時間
水位	4 (180L)
注湯量	20L



安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

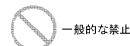
お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

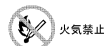
(→P. XX参照)

参照ページを示しています。

■絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

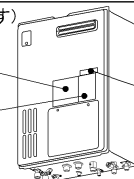
■機器本体の表示について■ (図は、135-T720型を示します)

使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

銘板

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



型番

型番を表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

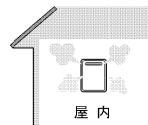
⚠ 危険

屋内設置の禁止(屋外設置形のみ)

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



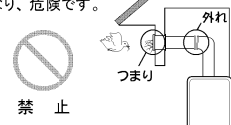
禁止



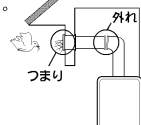
屋内

給排気筒の定期点検(屋内設置形のみ)

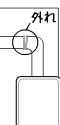
●給排気筒(給排気筒トップを含む)が外れていたり、鳥の巣・落葉・スズなどつまっているか定期点検をする。つまっていると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



禁止



つまり



外れ

必ずお守りください

危険

ガス漏れ時の処置

●ガス漏れに気づいたときは、

- ①すぐに使用をやめて、給湯槽を全て閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③窓や戸を開け、換気を促す。(屋内設置形のみ)
- ④お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。

警告

屋外設置の禁止 (屋内設置形のみ)

●535-T728型は屋内設置用です。屋外には設置しないでください。雨水の浸入などで、故障の原因になります。

機器設置 (および付帯工事)

●屋外設置形の機器は、増設などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

●この機器のガス管の接続は必ず接続です。ガス配管接続工事は専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

●給排気口の周囲

●給排気口の前方にもものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

●機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

●地震・火災などの緊急時の場合

●迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

●お子様には十分な注意を

●浴槽のふろアダプターの付近で湯 (水) に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。

●浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



●すべての処置が終るまでの間絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない

火気禁止

炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

使用ガス、使用電源の確認

●機器の銘板に表示してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないとき不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火やけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は (→P. 44 参照)

●この機器はAC100V 50/60Hz共用です。

●この部分必ずご確認ください。

例: GS-03 (2016年9月の製造)

製造年月を示しています。

例: GS-03 (2016年9月の製造)

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

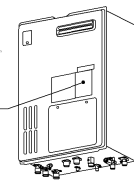
製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。

製造年月を示しています。



火災予防のために必ずすること

●機器周辺のものは常に図の

隔離距離を確保する。

●機器や排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ)

の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

●機器や排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ)

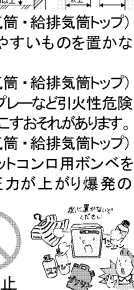
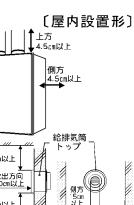
の周辺ではガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。

●機器や排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ)

の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

●排気口 (屋内設置形は給排気筒トップ) は洗濯物などをおおわない。

●不完全燃焼の原因となります。



火気禁止

分解禁止

●お客様自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。

異常時の処置について

①給湯槽を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。

②本書のP. 41～43「故障かな?と思ったら」に従って処置をする。

③上記の処置をしても直らない場合、また、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器本体でのやけどに注意

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。

●機器の使用中止または使用後は、必ず排気口 (屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ) とその周辺部には絶対に手を触れない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。



分解禁止

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯槽・放煙口

給湯・シャワー使用時入浴時の注意

①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るので注意する。手のひらで温度確かめて湯温が安定してからお使いください。

②給湯使用時は出湯管 (蛇口) が熱くなるので、やけどに注意する。

③お湯を止めた後に再使用するとき、またお湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合、一瞬熱いお湯が出るので注意する。手のひらで温度確かめて湯温が安定してからお使いください。

④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。

⑤浴槽に入るときは、手で湯の温度を確認して入浴する。浴槽内のお湯は上下に温度差があることがありますのでご注意ください。間違った操作をされた際や、万一、機器故障の際に、高温のお湯が張られている場合があります。

⑥お風呂沸かし (沸かし直し) や追いだき時には、ふろアダプター付近は熱くなることがあるので注意する。



手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

手で温度確かめる

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいまざらないよう注意してください。



飲用にお使いのときは

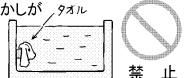
- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水管内にとどまることがあります。

入浴時の注意

- ふろアダプターを外して、お子様がサモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因となります。
- 浴槽のふろアダプターをタオルなどでふさいでください。循環不良によりおふろ沸かしが、できなくなったり、機器の故障原因になります。



乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

特監法対象機器（屋内設置形のみ）

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。ステッカーが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定電気設備の設置工事の委託に関する法律（特監法）による表示	
設置業者の名称	〇〇電気株式会社
設置者の氏名	田中 太郎
施工日の範囲	〇〇年〇〇月〇〇日
施工日の範囲	〇〇年〇〇月〇〇日

電源プラグを抜かない

- お手入れの際や水抜きを行い、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらずみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.36「冬期の凍結予防をする方法」に従って処置してください。おこたえと機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.38「再使用するとき」の項以下の操作を行ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた状態が30分以上続いた場合は、リモコンの再設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 自動でおふろを沸かしているときに、停電になると、ふろ自動運転が停止し、ふろアダプターからの湯が止まります。通電後、P.19・28「残り湯を沸かし直しをするには」の項以下の操作を行ってください。
- 追いつき中に停電になると、ふろアダプターから水が流ればなしになりますので、給水元栓を閉じてください。

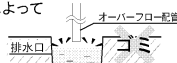


ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P.39参照）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万々着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。



通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わずにメンテナン스가できない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の沸騰により塩ビ管が破裂し、熱湯がふさ出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、オーバーフロー配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水や温泉水・井戸水とは接続しないでください。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

入溶剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、磺黄・酸を含んだ入溶剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入溶剤の含有成分を確かめ機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗剤または乳白色や白濁する入溶剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入溶剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入溶剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。



長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.36の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬凍ったお湯が出たり、冬場に凍結する場合があります。



排気ガス

- 増改築時などに燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）の周囲に、排気ガスによって加熱された給排気筒の（危険物・植物・ベントなど）を置かないでください。（寒い日は排気ガスが白い煙のように見えることがあります）

給排気について

- 機器（屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ）は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたまりやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口（屋内設置形は給排気筒トップ）をふさいで、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

機器を取り替える場合

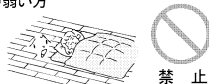
- 新しい機器に取り替えられる場合、機器本体の取り替えと合わせて浴槽内のふろアダプターも新しい部品に交換してください。機器が正常に作動しない場合や故障の原因になります。

必ずお守りください

警告 床暖房についての注意

やけどに注意

- 高い温度で設定したまま長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意しなくては必要です。
 - ・乳幼児や自分の意志で体を動かせない方
 - ・疲労の激しいとき
 - ・お酒や睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



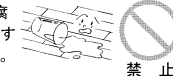
禁止

注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

- 床面に水・薬品・しょう油などをこぼれたまわしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



禁止

床へは衝撃を加えない

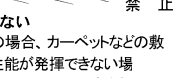
- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。



禁止

用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



禁止

床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・タニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



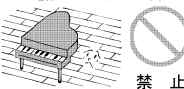
禁止

家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

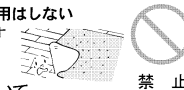
- ピアノなど重量物にはバットなどを敷いて一箇所に荷重がかけられないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



禁止

カーペットの張替えについて

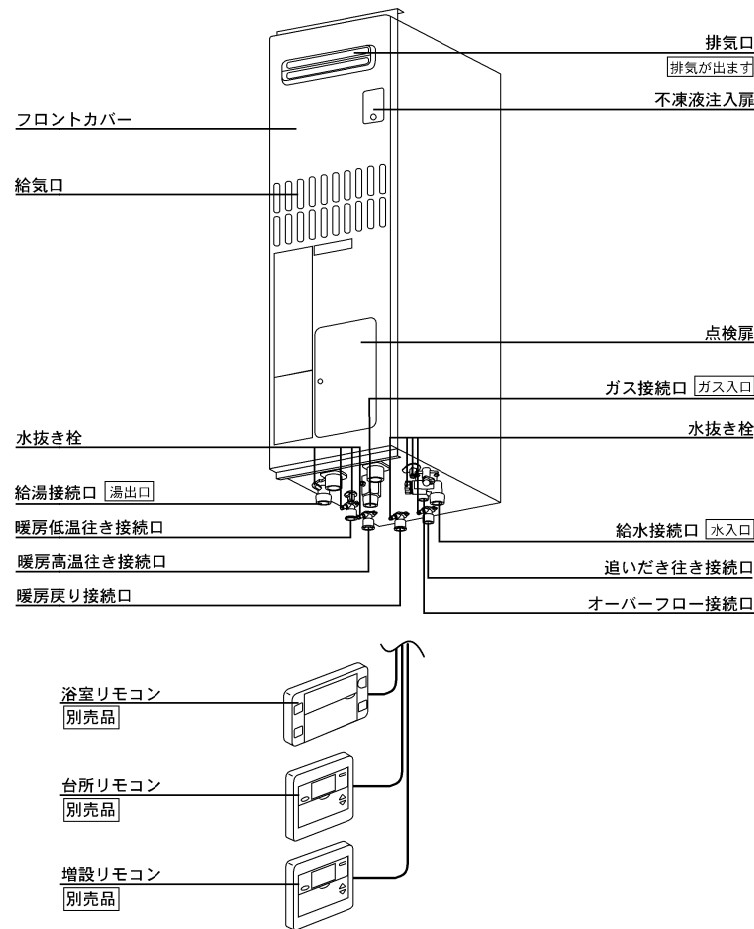
- 張替える場合には、床暖房を破損しないように、グリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはばようで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。



床暖房以外の放熱器についての注意は、放熱器の取扱説明書にあります。放熱器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とはたらき

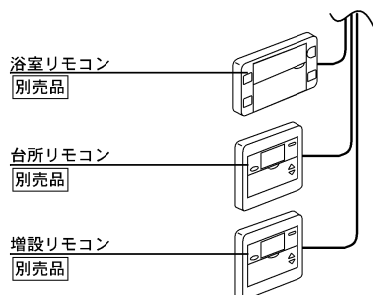
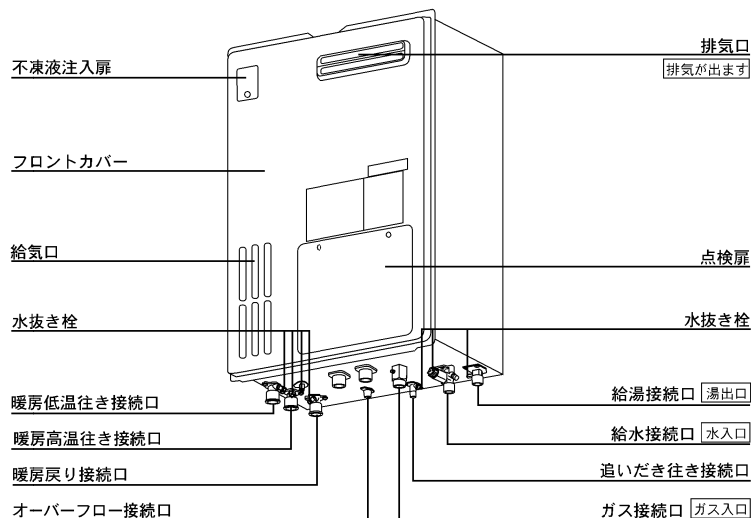
機器本体（図は135-T710型を示します）



お使いいただく前に

各部の名称とはたらき

■機器本体 (図は135-T720型を示します)



■浴室リモコン (浴室に取付けます)

138-T310型/T311型/T312型 (別売品：台所リモコンセット品)

138-T313型 (別売品：浴室リモコン単品 呼び出しスイッチなしタイプ)

給湯やお風呂沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。セット品の台所リモコンや別売の増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作 (一部の操作) することもできます。通常はふたを閉じておいてください。※138-T313型は浴室リモコン単品のみでのご利用となります。

ふろ自動スイッチ

設定した温度・水位で自動的に
お風呂を沸かします。
(→P. 17・27参照)

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中、沸き上げ
中は赤・保温中 (デラックス
タイプ) は緑で点灯します。

追いだしランプ

追いだき中に橙で点灯
します。

追いだしスイッチ

お風呂がめくるくて熱くしたい
ときに押します。(→P. 23・29参照)

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P. 13参照)

スピーカー

設定の状態や注意事項
などを警告音や音声で
お知らせします。

呼び出しランプ

呼び出し中に緑で点滅
します。

呼び出しスイッチ

浴室外にある台所リモコン等に
呼び出しチャイムと呼び出し音
声ガイドが流れます。

※138-T313型には、呼び出しスイッチ
および機能がありません

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ぬるくボタン

熱いお風呂をぬるくするときに押します。
(→P. 25参照)

たし湯ボタン

お風呂のお湯を増やしたいときに押します。
(→P. 26参照)

上・下ボタン

ふろ温度・保温時間 (デラックスタイプ)
・ふろ水位・現在時刻・音量・予約時刻
の調節をするときに押します。

優先ボタン

給湯温度調節の優先を、台所リモコン
または浴室リモコンに切替えるときに
押します。(→P. 16参照)
※138-T313型には、優先ボタンおよび
機能がありません

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をするときに押します。

設定ボタン

ふろ水位・現在時刻・音量の設定を切替
えるときに押します。
また、ボタンを長押しすると省電力モード
の設定・解除が行えます。(→P. 14参照)

ふろ予約ボタン

お風呂沸かしの予約をしたいときに
押します。(→P. 31参照)



給湯燃焼表示・ふろ/暖房燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ/暖房燃焼表示の補足説明



燃焼中は左右に動きます。

各部の名称とたたき

■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することが出来ます。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

保温時間 おふろの設定保温時間を表示します。	予約時刻表示 おふろが沸く時刻を表示します。	給湯温度表示 給湯の設定温度を℃で表示します。
ふろ温度表示 おふろの沸き上げ設定温度を℃で表示します。	現在時刻表示 現在時刻を表示します。	省電力ランプ 省電力機能の動作中に点灯します。
ふろ/暖房燃焼表示 ふろおよび暖房燃焼中に表示します。	追いだき動作ランプ 追いだきの動作状態をお知らせします。	給湯燃焼表示 給湯燃焼中に表示します。
たし湯運転表示 たし湯運転中に表示します。	優先表示 浴室リモコンに優先があるとき表示します。 ※T38-T313型には、優先表示がありません	湯量表示 追いだきの湯量を見て表示します。
ぬるく表示 ぬるく運転中に表示します。		
ふろ水位表示 おふろの設定水位を表示します。		
予約表示 予約スイッチが「入」のとき表示します。		

■台所リモコン 138-T310型 (別売品：暖房スイッチなしタイプ)

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示 現在時刻を表示します。	省電力表示 省電力機能の動作中に表示します。
予約時刻表示 おふろが沸く時刻を表示します。	給湯温度表示 給湯の設定温度を℃で表示します。
スピーカー 設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。	運転スイッチ 操作するとき最初に「入」にします。 (→P. 13参照)
予約表示 予約スイッチが「入」のとき表示します。	優先表示 台所リモコンに優先があるとき表示します。
ふろ自動スイッチ ふろ自動運転をするときに押します。 (→P. 17・27参照)	給湯温度ボタン 給湯温度の調節をするときに押します。 (→P. 15参照)
追いだき動作ランプ 追いだきの動作状態をお知らせします。	給湯燃焼ランプ 給湯燃焼中に点灯します。
暖房燃焼ランプ 暖房燃焼中に点灯します。	

台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ふろ予約ボタン おふろ沸かしの予約をしたいときに押します。(→P. 31参照)	上・下ボタン 現在時刻・予約時刻・音量・暖房静音の調節をするときに押します。 ※そのまま押すと、給湯温度の調節ができます。
設定ボタン 現在時刻・音量・暖房静音の設定を切り替えるときに押します。	

■台所リモコン 138-T311型 (別売品：暖房スイッチありタイプ)

暖房スイッチ付台所リモコンです。
給湯温度の設定や、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転中の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン138-T310型との違いのみ説明します。

表示部 	ふたを開けた図
暖房表示 暖房の動作中に表示します。	暖房ボタン 暖房運転をするときに押します。 (→P. 33参照)

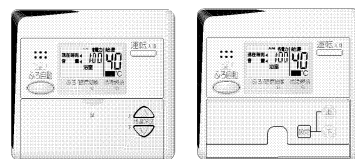
■台所リモコン 138-T312型 (別売品：浴室予備暖房スイッチありタイプ)

浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンです。
給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、浴室暖房乾燥機の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン138-T310型との違いのみ説明します。

運動表示 ふろ自動運転と浴室予備暖房運転の運動設定時に表示します。	表示部 	ふたを開けた図 	浴室予備暖房ボタン 浴室予備暖房運転をするときに押します。(→P. 34参照)
浴室暖房表示 浴室予備暖房の動作中に表示します。			運動ボタン ふろ自動運転と浴室予備暖房運転をするときに押します。 (→P. 35参照)

■増設リモコン 138-3136型 (別売品)

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」/「切」、給湯温度調節、ふろ自動運転が操作できます。
各部のたたきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転や暖房静音運転は操作できません。

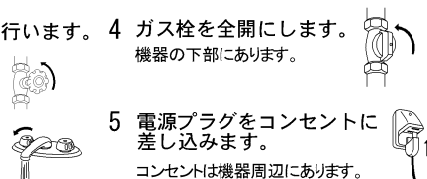


ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います。
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



ご利用前の準備

準備ができれば、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

- リモコンを「入」にする ※電源投入後、リモコンが表示するまで多少時間がかかります。
※電源投入直後は、イラストの表示とは異なります。

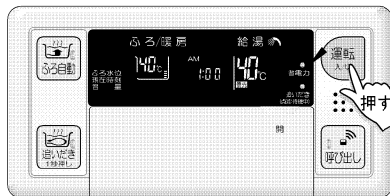
〔リモコンの図は138-T310型で説明します〕

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの運転スイッチを押します。

リモコンの画面に図のような画面が表示されます。
運転スイッチを押したリモコンには、優先表示が表示されます。
ふろ、給湯を使わないときは、運転スイッチをもう一度押します。
リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。

浴室リモコン 画面表示・優先表示
省電力ランプ点灯

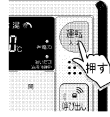
台所リモコン 画面表示・優先表示
省電力表示
液晶画面ライト点灯



- 現在時刻を合わせる ※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕

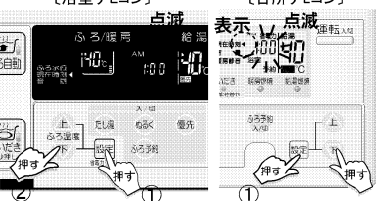


「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押して現在時刻を設定します

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕



△ボタンは時刻が進みます
▽ボタンは時刻が戻ります
※ボタンを押し続けると
連続的に数字が変わります

- ①設定ボタンを押し、△を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
②△または▽ボタンを現在時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押しください。
△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“現在時刻、セットされました”

- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。
●AM(午前)・PM(午後)に注意してください。
●設定時に△または▽ボタンを押さないと約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
●初回の時刻合わせは、設定ボタンを1回押せば時刻合わせが出来ます。その後時刻を直したい場合は、浴室リモコンは設定ボタンを2回台所リモコンは1回押しってください。

省電力機能について

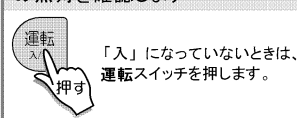
浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。
このモードを使うことで電気の節約になります。

浴室リモコンで操作します。



※出荷時の省電力モードは
「入」になっています。

運転スイッチ「入」と省電力ランプ
の点灯を確認します



省電力モードの解除

省電力モード中の場合は、リモコンの画面を
通常表示させます。(表示の方法は下記参照)

浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを
5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、解除されました”

〔浴室リモコン〕

省電力ランプが消灯します



〔台所リモコン・増設リモコン〕

省電力表示が消えます



※運転スイッチの「入」/「切」では省電力モードは
解除されません。

省電力モード中に画面を表示させるには

給湯性を開ける。もしくは、各スイッチおよびボタンを
押すと画面が表示されます。

❗ご注意ください
左記のスイッチを押すと、
画面が表示されると同時に
運転が開始します。

お願い

- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ふろ自動・追っだし・呼び出しスイッチおよび台所リモコンの暖房ボタンまたは浴室予備暖房ボタンは画面が消えている状態でも動作を受け付けます。これ以外の動作をするときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。
- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)とき給湯の優先が浴室リモコンにあって台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。
①台所リモコンの運転スイッチを押して液晶表示画面のライトを点灯させ、もう一度運転スイッチを押して運転「切」にします。
②再度、運転スイッチを押して運転「入」にします。台所リモコンが優先となります。
- 省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに暖房を使用した場合は、暖房燃焼表示(台所リモコンでは暖房燃焼ランプ)が表示されます。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。

省電力モードの設定



浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを
5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
“省電力、セットされました”

〔浴室リモコン〕

省電力ランプが点灯します



〔台所リモコン・増設リモコン〕

省電力表示が点灯します



その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作が
ない場合

浴室リモコン省電力ランプ以外のすべて
の画面表示が消えます。

台所リモコン 液晶表示画面のライトが消えます。
増設リモコン 液晶表示画面のライトが消えます。

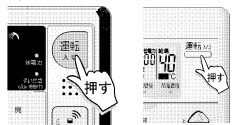
※下記の場合、省電力モードでも画面表示します。

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中および保温中(最長8時間)

お湯を使うには

1 運転スイッチ「入」を確認します

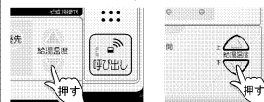
〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 給湯温度を調節します

〔浴室リモコン〕ふた開 〔台所リモコン〕ふた開



給湯温度を調節するリモコンに優先が表示されていることを確認します。浴室リモコンはふたを開けます。給湯温度△または▽ボタンを押してお好みの温度に設定します。

△ボタンは給湯温度が1段階ご上ります。
▽ボタンは給湯温度が1段階ご下ります。

給湯温度は以下の14段階で設定できます。

ご使用の目安		(単位:℃)													
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60		
食洗機など		シャワー・給湯など					給湯など					高温			

※40:工場出荷時

3 給湯栓を開けます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示 \triangle が表示します。
台所リモコンでは給湯燃焼ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示 \triangle が消えます。
台所リモコンでは給湯燃焼ランプが消灯します。
ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

お湯を使うときの注意

- 警告**
- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
 - シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が変動し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30℃近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。
- ふろ自動運転のお湯張り中のシャワーはふろ設定温度で出湯されます。お湯張り終了したあとは給湯の設定温度に戻ります。



おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

給湯温度を調節するときの注意

ご注意ください

- 50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。

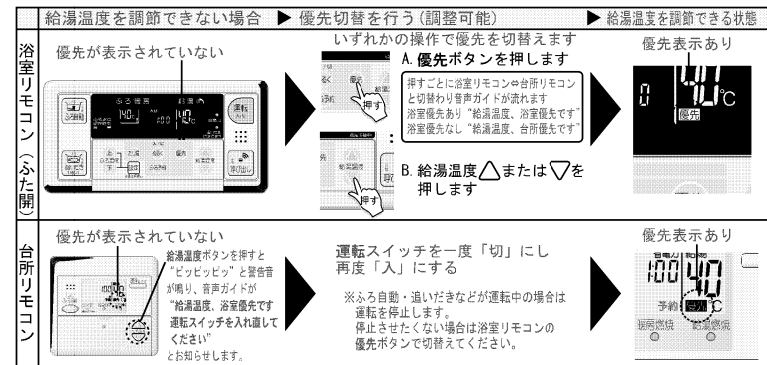
お願い

- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだき中)・たし湯・ぬるく運転中は、台所リモコンの給湯温度△または▽ボタンや、浴室リモコンの給湯温度△または▽ボタンを押すと「ヒューヒュー」と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。設定したいときは、一旦使用を止めてから行ってください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

※浴室リモコン(138-T313型)には、優先ボタンおよび機能がありません。

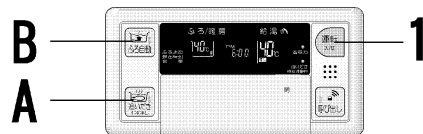


- 給湯優先切替時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合は、自動的に55℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時に、設定温度が50℃以上の場合「熱い温度にセットされました 注意してください」とお知らせします。
- 別売の増設リモコン(138-3136型)を設置している場合。
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先となります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

デラックスタイプふろアダプター使用時

残り湯を沸かし直すには

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

A 水位がふろアダプターより5cm以上高い場合 追だしスイッチを1秒以上押し続けます

操作の方法は追だし運転(P. 23～参照)と同じです。



追だしランプ(橙)が点灯します。
音声ガイドが流れます。
“お風呂を沸かします 熱い温度に注意してください”
高温水を差し湯してふろ設定温度まで沸かし直します。

①ご注意ください

残り湯の水位が高い場合は、設定温度に達する前に、浴槽からお湯があふれる場合があります。
残り湯の温度と設定温度の差が大きい場合、一回の操作で設定温度に達しない場合があります。
その場合は再度追だし運転を行ってください。

B 水位がふろアダプターより上5cmに満たない場合 残り湯を排水し、ふろ自動運転を行います



ふろ自動スイッチを押します。

ふろ自動ランプ(赤)が点灯します。
運転を開始します。
(運転内容はP. 17～参照)

沸かし直しを途中で停止させるには

もう一度、追だしスイッチを押します。

追だしランプとふろ/暖房燃烧表示と、追だし動作ランプが消灯して、運転が停止します。

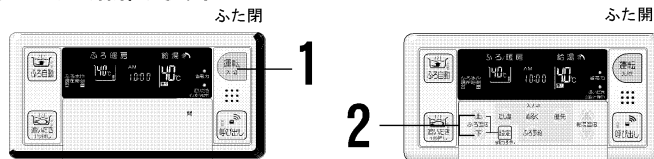
⚠ 警告



- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯がけんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
- 追だしはすぐに始まりません。これは残り湯の有無を機器が確認するためで異常ではありません。
- 残り湯の水位がふろアダプターより低い場合は、沸かし直しを始めません。必ずふろアダプターより水位が5cm以上高いことを確認してください。
- 沸かし直しの運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追だし動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、沸かし直しの運転を再開します。

ふろ温度をセッするには

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、ふろ温度を設定します



ふろ温度△・▽ボタンを押してお好みの温度に設定します。

△ボタンは温度が上がります。
▽ボタンは温度が下がります。

ふろ温度は以下の12段階で設定できます。

ご使用の目安 (単位:°C)											
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準						あつい		

40:工場出荷時

お願い

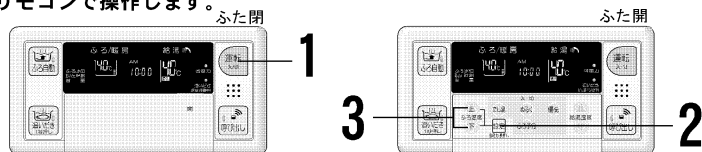
●浴槽の種類や施工条件によって、実際のふろ温度と表示されるふろ温度が、多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。



- 設定は記憶されるので、次回からはセッする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セッが必要です。
- 保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

ふろ水位をセットするには

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、△をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください”

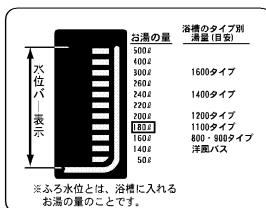
3 ふろ水位を設定します

△・▽ボタンを水位バーが点滅している間に押します。
△ボタンは水位が高くなります。
▽ボタンは水位が低くなります。

(水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください)

△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。音声ガイドが流れます。“ふろ水位、セットされました”

ふろ水位の目安 □:工場出荷時



●浴槽の種類や施工条件によって、実際の水位と表示される水位が、多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めめにセットするとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。

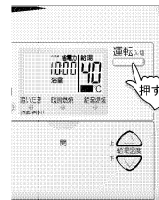
●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
●設定時に△または▽ボタンを押さないで約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
●水位の設定中はふろ自動スイッチを受け付けません。水位の確定後に押してください。

チャイムや音声ガイドの音量を調節する

1 運転スイッチ「入」を確認します



【浴室リモコン】



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け、設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、△を音量の右側に表示させ、音量表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。“音量です 上下ボタンで入力してください”

3 音量を設定します

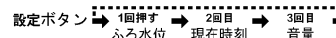


△・▽ボタンを音量表示が点滅している間に押します。
△ボタンは音量が大きくなります。
▽ボタンは音量が小さくなります。

0(無音) 1(小) 2(中) 3(大) □:工場出荷時
△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。音声ガイドが流れます。“音量、セットされました”



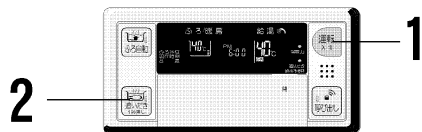
- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量は浴室リモコン・台所リモコンで別々に設定ができます。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないで約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときの呼び出し音声は、音量“小”で台所リモコン(増設リモコン)より流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ビッピッピ”の音は調節できません。
- 設定ボタンを順に押して「ふろ水位」「音量」を続けてセットすることもできます。セットすると音声ガイドが“ふろ水位、現在時刻、音量セットされました”と設定した項目についてお知らせします。
- 上記のように続けてセットする場合、設定ボタンは以下のように操作します。



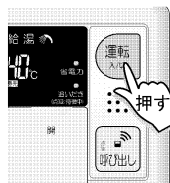
使い方

デラックスタイプふろアダプター使用時 お風呂のお湯を熱くするには（追いだき）

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。
浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

水位がふろアダプターより
5cm以上、上にあることを、
確認します。

2 追いだきスイッチを1秒以上押し続けます



追いだきランプ（橙）が点灯します。

もっと熱くしたいときには

もう一度、追いだきスイッチを押します。

追いだき運転を途中で停止させるには

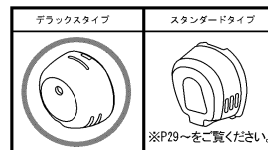
もう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプとふろ/暖房燃焼表示 \uparrow と \dashv 、
追いだき動作ランプが消灯して、追いだき運転が停止します。

警告 ●追いだきの操作をするときには、浴槽のふろアダプターより高温水が出るため、入浴中はふろアダプターに近づかない。やけどのおそれがあります。

注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽のふろアダプターより上に湯（水）が5cm以上あることを確認する。

お願い ●追いだき運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、追いだき運転を再開します。

浴槽のふろアダプターは2種類あります。



2-1 追いだき（高温差し湯）を開始します。



\dashv が点灯します。 \dashv は以下の表示を繰り返します。

追いだき動作ランプが点灯します。 → 消灯 →

音声ガイドが流れます。

“お風呂を沸かします 熱い温度に注意してください”
しばらくして、ふろ/暖房燃焼表示 \uparrow が表示され、追いだき運転を開始します。



現在温度+2℃で沸き上げて自動的に停止します。
ただし、沸き上げた温度（現在温度+2℃）が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。

※設定温度と現在温度の差が大きい場合、一回の操作で設定温度に達しない場合があります。

その場合は再度追いだき運転を行ってください。

運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ/暖房燃焼表示 \uparrow と \dashv 、追いだき動作ランプも消えます。

注意 ●高温水を差し湯して沸かし上げますので、浴槽からお湯があふれる場合があります。

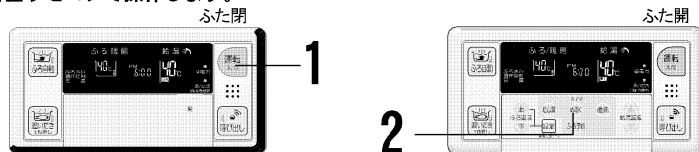


●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ビッビッ”と警告音が鳴ります。

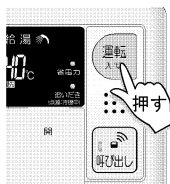
お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水（約12ℓ）を入れます。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けぬるくボタンを押します



ぬるくが表示されます。

しばらくして、□□□ が表示され、ぬるく運転を開始します。約12ℓの水を入れて、自動停止します。

□□□は以下の表示を繰り返します。

□→□□→□□□→消灯→□

運転が終了するとぬるく表示が消え、□□□も消えます。

もっとぬるくしたいときには

もう一度、ぬるくボタンを押します。

ぬるく運転を途中で停止させるには

もう一度、ぬるくボタンを押します。

ぬるく表示と □□□ が消灯して、ぬるく運転が停止します。

❗ご注意ください

●ぬるく運転中に給湯栓（シャワーを含む）を開けると水が出てきます。このとき給湯燃焼はしません。



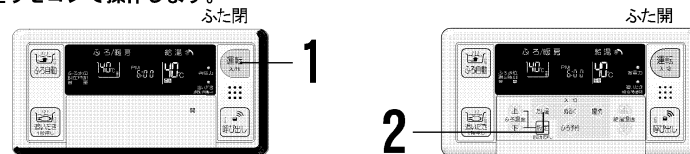
●ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）はぬるくボタンを使用できません。ボタンを押すと“ビッピッ”と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示^④またはふろ燃焼表示^⑤が消えてからぬるくボタンを押してください。お湯の使用中也ぬるくボタンを使用できません。

お風呂のお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やしたいときには、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れます。

浴室リモコンで操作します。

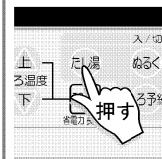


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けたし湯ボタンを押します



たし湯が表示されます。■ ■ ■ が点灯します。しばらくして給湯燃焼表示^④が表示され、たし湯運転を開始します。約24ℓの湯を入れて、自動停止します。

■ ■ ■ は以下の表示を繰り返します。

■ ■ ■ → ■ ■ ■ → 消灯 → ■ ■ ■

運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯燃焼表示^④と ■ ■ ■ も消えます。

もっとたし湯をしたいときには

もう一度、たし湯ボタンを押します。

たし湯運転を途中で停止させるには

もう一度、たし湯ボタンを押します。

たし湯表示と給湯燃焼表示^④、■ ■ ■ が消灯して、たし湯運転が停止します。

❗ご注意ください

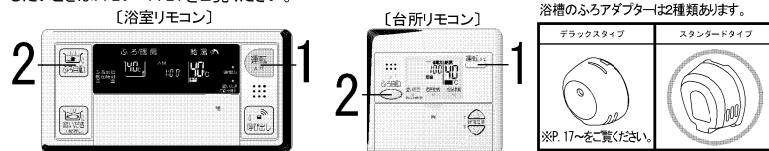
- たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。
- たし湯運転中に給湯栓を開けたときや給湯使用中にたし湯を開始すると、給湯栓から出るお湯の温度はふろ温度になります。給湯設定温度に戻すには、給湯を一旦停止してたし湯終了後再度給湯栓を開けてください。給湯温度が50°C以上の場合にはチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、たし湯ボタンを使用できません。ボタンを押すと“ビッピッ”と警告音が鳴ります。

お願い

- たし湯ボタンは長く（5秒以上）押さないでください。入浴中にたし湯ボタンを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。（→P. 36参照）浴室リモコンに「032」が点滅し運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

スタンダードタイプふろアダプター使用時 自動でおふろを沸かすには

はじめてお使いのときはふろ温度：40℃、ふろ水位：180ℓ（水位バー4）の設定です。ふろの温度や水位を変更したいときはP. 20～P. 21をご覧ください。

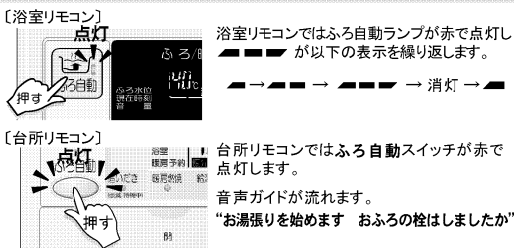


準備 浴槽の排水栓をして
ふたをします

1 運転スイッチを 「入」にします



2 ふろ自動スイッチを押します



2-1 お湯張りを開始します。

【浴室リモコン】



【台所リモコン】



設定水位に近くなると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“もうすぐおふろに入れます”

設定された水位に達すると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。
“おふろが沸きました”

※給湯温度が50℃以上に設定されている場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが
“熱い温度にセットされました 注意してください”と流れます。

おふろ沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、ふろ自動スイッチを押します。
自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

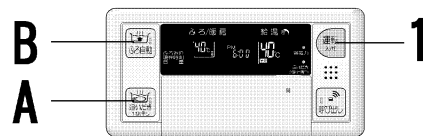
警告 ●おふろの沸かし上げ中は、突然ふろアダプターより熱いお湯が出たり、ふろアダプターの周囲が熱くなっていることがあるので注意です。やけどのおそれがあります。

●ご注意ください

- 予約運転でふろ自動運転を行った場合は“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。
- 自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、ふろアダプターからの湯が止まります。沸かし直しをするには（→P. 28 参照）をご覧ください。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、ふろアダプターからお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯燃焼表示灯（台所リモコンは給湯燃焼ランプ）が点滅したり消えたりすることは異常ではありません。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。
- ふろ自動運転の沸かし上げ中に、台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ自動運転が一時的に中断します。その際、追いつき動作ランプが点滅してお知らせします。お湯の使用後は、ふろ自動運転を再開します。

スタンダードタイプふろアダプター使用時 残り湯を沸かし直しするには

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」 を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

A 水位がふろアダプターより5cm以上高い場合 追いつきスイッチを1秒以上押し続けます

操作の方法は追いつき運転（→P. 29 参照）と同じです。

追いつきランプ（橙）が点灯します。
音声ガイドが流れます。
“おふろを沸かします 熱い温度に注意してください”
高温水を差し湯して沸かし直します。

●ご注意ください

沸かしすぎにご注意ください。
設定湯量の高温水を差し湯して沸かし上げますので、適温で自動的に停止しません。湯温が適温になったら、追いつきスイッチを押して、運転を停止してください。
停止させなかった場合、やけどのおそれがあります。
また、冬場など残り湯の温度が極端に低い場合は、差し湯注湯量の設定を最大にしても、適温にならない場合があります。その場合はもう一度、追いつきスイッチを押してください。（お湯のあふれには、ご注意ください）

B 水位がふろアダプターより15cm以上満たない場合 残り湯を排水し、ふろ自動運転を行います



ふろ自動スイッチを押します。

ふろ自動ランプ（赤）が点灯します。
運転が開始します。
（運転内容はP. 27 参照）

沸かし直しを途中で停止させるには

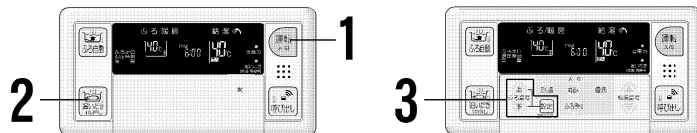
もう一度、追いつきスイッチを押します。
追いつきランプとふろ 暖房燃焼表示灯（赤）と、追いつき動作ランプが消灯して、運転が停止します。

警告

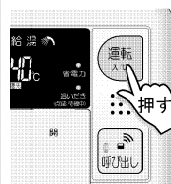
- 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯がけんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
- 残り湯の水位が浴槽のふろアダプターより低い場合に沸かし直しをすると、安全装置が作動し、停止します。この場合は、水位をふろアダプターより5cm以上高くしてから行ってください。
- 沸かし直しの運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いつき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、沸かし直しの運転を再開します。

スタンダードタイプふろアダプター使用時 お風呂のお湯を熱くするには（追いだき）

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。
浴室リモコンで操作します。



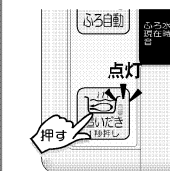
1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

水位がふろアダプターより5cm以上、上にあることを、確認します。

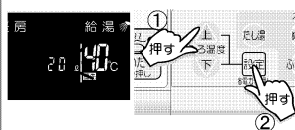
2 追いだきスイッチを1秒以上押し続けます



追いだきランプ（燈）が点灯し、差し湯注湯量表示が点滅します。音声ガイドが流れます。

“お風呂を沸かします 上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”

3 差し湯注湯量を設定します



①△・▽ ボタンを差し湯注湯量が点滅している間に押します。

差し湯注湯量
20℃ 30℃ 40℃
工場出荷時

②差し湯注湯量の選択後、設定ボタンを押すか、スイッチやボタンを押さないうちに、しばらく待つと運転を開始します。

もっと熱くしたいときには

もう一度、追いだきスイッチを押します。

追いだき運転を途中で停止させるには

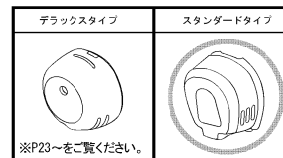
もう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプとふろ/暖房燃焼表示（灯）と、追いだき動作ランプが消灯して、追いだき運転が停止します。

警告 ●追いだきの操作をするときには、浴槽のふろアダプターより高温水が出るため、入浴中はふろアダプターに近づかない。やけどのおそれがあります。

注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽のふろアダプターより上に湯（水）が5cm以上あることを確認する。
●設定湯量を差し湯して沸かし上げますので、適温で自動的に停止しません。沸かしすぎにご注意ください。

お願い ●追いだき運転中に、給湯・シャワーを使用すると運転が一時的に中断します。その際、追いだき動作ランプが点滅してお知らせします。給湯・シャワーの使用後は、追いだき運転を再開します。

浴槽のふろアダプターは2種類あります。



3-1 追いだき（高温差し湯）を開始します。



●が点灯します。
●は以下の表示を繰り返します。
→ → → → 消灯 →

追いだき動作ランプが点灯します。

音声ガイドが流れます。

“お風呂を沸かします 熱い温度に注意してください”
しばらくして、ふろ/暖房燃焼表示（灯）が表示され、追いだき運転を開始します。



設定した差し湯注湯量に達すると運転を停止します。

運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ/暖房燃焼表示（灯）と、追いだき動作ランプも消えます。

注意 ●お好みの温度で停止しないので、沸かしすぎにはご注意ください。
湯温が適温になりましたら、もう一度、追いだきスイッチを押して運転を停止してください。
追いだきスイッチを押して停止させなかった場合、やけどのおそれがあります。



●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ビッピッピ”と警告音が鳴ります。

●設定した差し湯量は記憶されません。次の追いだき時には初期設定の20℃に戻ります。

お風呂が沸く時刻を予約するには

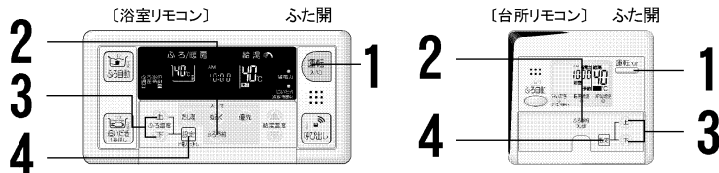
お風呂の沸き上がり時刻を予約することができます。
予約の設定は予約時刻の60分以上前に設定してください。

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓が閉じており、お風呂のふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(P.13参照)
- 予約時刻を確認。(P.31参照)
- ふろ温度・ふろ水位の設定を確認。(P.20～21参照)

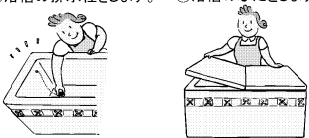


■予約運転を開始する お風呂の沸き上げ完了する時刻をセットし、予約を開始します。

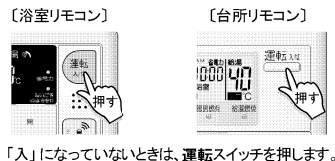


準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。

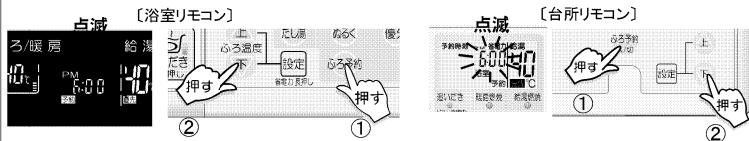


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを押し、予約時刻を設定します



①ふろ予約ボタンを押します。

予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。

“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

②△または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。

△ボタンは予約時刻が進みます。

▽ボタンは予約時刻が戻ります。

※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります

次ページ3へすすむ

デラックスタイプのふろアダプターをご利用の場合で
保温時間の変更を行いたい場合は、以下の方法で予約操作をしてください。

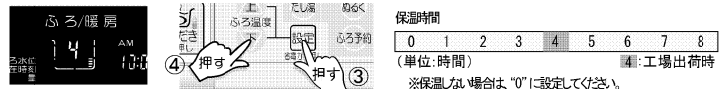
2' 浴室リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを2秒以上押し続けませ



①ふろ予約ボタンを押し、予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。

“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

②△または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。



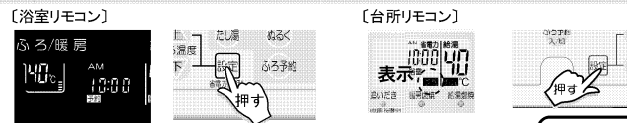
③設定ボタンを押すと、保温時間表示が点滅します。音声ガイドが流れます。

“保温時間を変更する場合は、上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”

④△または▽ボタンを保温時刻が点滅している間(約10秒間)に押してください。

ページ3へすすむ

3 設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります



音声ガイドが流れます。

“予約されました お風呂の栓はしましたか”

予約が表示され、予約時刻表示が点滅から点灯に変わり、その後現在時刻に戻ります。

予約の設定は予約運転ごとに
毎回行ってください

予約を取消したいときは

※リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます

もう一度、ふろ予約ボタンを押します。音声ガイドが流れます。“予約、解除されました”

リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。

すでににお風呂沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときにはふろ自動スイッチを押してください。

運転が停止します。



- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって多少前後する場合があります。
- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となります。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。ただし、停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットしてください。
- リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また予約「入」かつ、運転「切」の状態でもふろ予約ボタンを押すと予約は解除されます。

暖房運転をするには

システムエアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

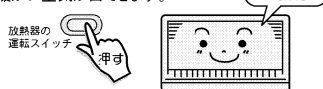
■放熱器の運転／停止

〈放熱器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合〉

放熱器の運転

放熱器の運転スイッチ「入」にします。

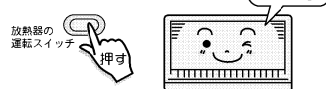
浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④と台所リモコンの暖房燃焼ランプが点灯します。
しばらくしてファンが回り、
暖かい空気が出てきます。



放熱器の停止

放熱器の運転スイッチ「切」にします。

浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④と台所リモコンの暖房燃焼ランプが消灯します。
放熱器の運転が停止します。



■暖房スイッチ付台所リモコンでの運転／停止

〈放熱器に運転スイッチがない場合や信号線を接続していない場合〉

放熱器の運転

放熱器のバルブを開け、
台所リモコンの暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④と
台所リモコンの暖房表示および
暖房燃焼ランプが点灯します。

138-T311型
台所リモコン

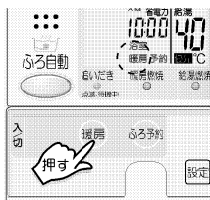


放熱器の停止

台所リモコンの暖房ボタンを押します。
放熱器のバルブを閉じます。

浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④と
台所リモコンの暖房表示および
暖房燃焼ランプが消灯します。

138-T311型
台所リモコン



※運転スイッチが「切」の場合でも暖房表示が表示されます。



- リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく暖房運転ができます。
- 放熱器に運転スイッチがない場合は、暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。

■浴室予備暖房について

浴室予備暖房ボタンがついているリモコンで使用できる機能です。
台所から、浴室暖房乾燥機の運転「入」/「切」ができます。

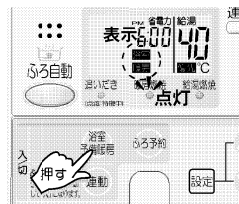
■浴室予備暖房スイッチ付き台所リモコンでの運転／停止

浴室暖房乾燥機の運転

台所リモコンの
浴室予備暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④と
台所リモコンの浴室・暖房表示および
暖房燃焼ランプが点灯します。
しばらくすると、浴室暖房乾燥機が動き
はじめます。

138-T312型
台所リモコン

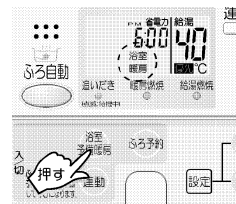


浴室暖房乾燥機の停止

台所リモコンの
浴室予備暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④と
台所リモコンの浴室・暖房表示および
暖房燃焼ランプが消灯します。
浴室暖房乾燥機の運転が停止します。

138-T312型
台所リモコン



※運転スイッチが「切」の場合でも浴室および暖房表示が表示されます。

※電源投入時、機器が浴室暖房乾燥機の確認をするまで浴室予備暖房ボタンを受け付けない場合があります。



- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく浴室予備暖房運転ができます。
- 浴室リモコンのふろ／暖房燃焼表示④や台所リモコンの暖房燃焼ランプは、リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく、浴室暖房乾燥機の運転状態により点灯および消灯をします。
- 浴室暖房乾燥機の温度調節・運転時間等については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書に従ってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 浴室暖房乾燥機付属のリモコンで暖房（浴室予備暖房）運転を行っているときに、138-T312型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと運転が停止します。
- 浴室暖房乾燥機で暖房（浴室予備暖房）以外の運転を行っているときに、138-T312型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと、暖房（浴室予備暖房）運転に切り替わりますのでご注意ください。

暖房運転をするには

■連動について

連動ボタンがついているリモコンで利用できる機能です。

ふろ自動運転と浴室予備暖房運転を行います。

運転スイッチ「入」を確認し、

台所リモコンの連動ボタンを押します。

133-T312型
台所リモコン

ふろ自動スイッチが赤で点灯します。

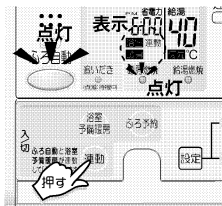
画面に浴室・暖房・連動表示が表示され

暖房燃焼ランプが点灯します。

音声ガイドが流れます。

“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか”

ふろ自動運転と浴室暖房乾燥機の運転が始まります。



連動中に運転を停止させるには

・浴室暖房運転とふろ自動運転を停止→連動ボタンを押します。ふろ自動ランプが消灯、浴室・暖房・連動表示が消えます。

・ふろ自動運転のみを停止→ふろ自動スイッチを押します。ふろ自動ランプが消灯、連動表示が消えます。

・浴室暖房運転のみを停止→浴室予備暖房ボタンを押します。浴室・暖房・連動表示が消えます。

■暖房静音について

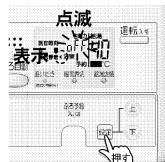
暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。

一度、暖房静音をセットしておけば、運転「切」の状態でも、毎回暖房静音運転になります。ただし、停電や電源プラグを抜くなどして30分以上通電が停止したときは、再びセットが必要です。

■暖房静音の設定/解除

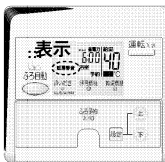
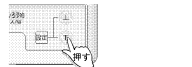
工場出荷時にはOFFに設定されています。

暖房静音の設定



設定ボタンを3回押し、◀が暖房静音の右側に点灯して表示が点滅していることを確認します。

音声ガイドが流れます。
“静音です 上下ボタンで入力してください”



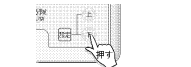
△または▽ボタンでON表示を選択後、しばらく待つと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“静音、セットされました”

暖房静音の解除



設定ボタンを3回押し、◀が暖房静音の右側に点灯して表示が点滅していることを確認します。

音声ガイドが流れます。
“静音です 上下ボタンで入力してください”



△または▽ボタンでOFF表示を選択後、しばらく待つと暖房静音表示が消え解除となります。
音声ガイドが流れます。
“静音、解除されました”

※運転スイッチが「切」の場合でも暖房静音表示が表示されます。



●リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。

●暖房静音運転中に給湯・追いだし運転・ふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

給湯

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動し、機器内を保温する凍結予防装置がついています。機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

- 自動凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを切ると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。
●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材で被覆してください。
●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。
- 2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc（牛乳びん2本ぐらい）の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分後にもう一度流量を確認してください。



- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めるのを待ちます。

■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままおいてください。

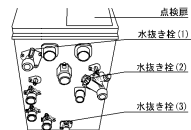
- △注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。
- 5 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、たし湯ボタンを5秒間押し続けます。

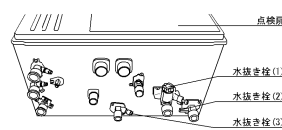
- 2 全ての給湯栓を全開にします。

- 3 浴槽の水（お湯）を排水します。

- 4 水抜き栓（1）（2）（3）を外します。



（図はT35-T700-T710型を示します）



（図はT35-T720型を示します）

- △注意 ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 40参照）

- 水抜きをするときなどに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●水抜きをしたあとは、浴槽へ水を流し込まないでください。

使用方

長く使いたくため

冬期の凍結予防をするには

暖房

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に暖房タンクの水（湯）を循環して暖房運転（燃焼）し、暖房回路内の水を暖め凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。通常は機器および放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開閉しては凍結予防ができます。凍結予防装置は運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、不凍液による方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

- お願い**
- 方法は放熱器によって異なります。
 - 電源プラグがコンセントから抜けていたり、電源ブレーカーが切れていると作動しませんのでご注意ください。
 - この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

■不凍液による方法

- 寒冷地では不凍液を使用してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。
- 不凍液を使用しているか、フロントカバーの不凍液注入識別ラベルで確認してください。

■機器の水を抜く方法（不凍液が入っている場合、水抜き操作は行いません）

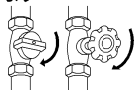
入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し、凍結予防します。排水後は、次にお使いになるまでそのまゝおいてください。

- 注意** ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

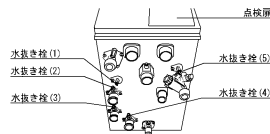
- 給湯・ふろの水抜き操作に引き続き暖房の水抜きを行う場合は、再度電源プラグを差し込みます。

給湯側の水を抜いてから行います

- 1 ガス栓・給水元栓が開いていることを確認します。



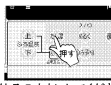
- 2 水抜き栓（1）（2）（3）（4）を外します。
135-T700・T710 型は（5）も外します。



（図は135-T700・T710型を示します）

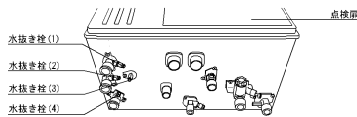
つぎに暖房回路内の水を抜きます

- 3 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、たし湯ボタンを5秒間押し続けます。



※水抜き栓から完全に水がでるまで10分位そのまゝおいてください。

- 4 完全に水がでたら、電源プラグを抜きます。



（図は135-T720型を示します）

- 注意** ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.40参照）

- お願い** ●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や放熱機内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

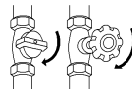
■凍結してしまったとき

凍結したときは、給湯栓を開けても水がでできません。

解冻するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。

配管が破裂していた場合の水漏れを防止する目的です。



- 2 リモコンの運転スイッチを「切」にします。



- 3 ときどき、給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。給水元栓を開け、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。ガス栓を開けます。

- 4 リモコンの運転スイッチを「入」にします。

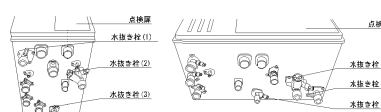


- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額の修理費（有料）がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破裂することがあります。解冻後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなどして、水漏れしていないことをご確認ください。
 - 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用はお客様の負担となります。

■再使用するとき

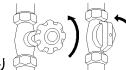
機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓（1）（2）（3）を閉じます。



（図は135-T700・T710型を示します）

- 3 給水元栓・ガス栓を開けます。浴槽のふろアダプターから水が出ますが、電源を入れると水は止まります。



- 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。水漏れがないことを確認します。



- 2 全ての給湯栓を閉じます。



通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンにアラーム番号“543”“173”が出る場合放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

- 注意** ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.40参照）



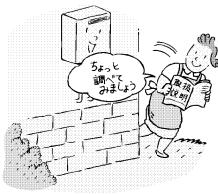
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れしていると、そこから水漏れします。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）

次の7つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口（屋内設置形は排気筒・給排気筒トップ）のそばに燃えやすいものはありませんか？ また、整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が浸入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）が塞がれていませんか？
給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口（屋内設置形は給排気筒トップ）を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 7 給排気筒（給排気筒トップを含む）の損傷やつまり、外れていることはありませんか？（屋内設置形のみ）



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどでは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4年～6年に1回程度をおすすめします。
点検は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

△警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

○お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

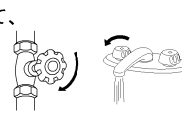


分解禁止

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつかまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築等の場合）

- 1 給水元栓を閉じて、給湯栓を開ける。

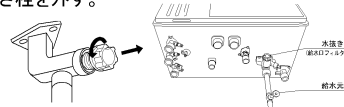


- 3 歯ブラシなどで洗う。

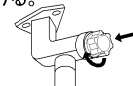


- 2 給水接続口にある水抜き栓を外す。

（図は135-T720型を示します）



- 4 元のように取り付ける。



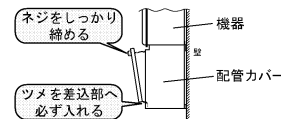
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ① カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ② 化粧ネジを確実に締める。



○お願い

- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

長く使いたくために

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に 表示が出ない	省電力の待機中ではありませんか (→14ページ) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→12ページ) 停電していませんか (→5ページ)
アラーム番号「152」が点滅し、 動作しない	浴槽に水が入っていますか (→19・23 28・29ページ)
給湯燃焼表示 ^(A) が表示しない (台所リモコンは、給湯燃焼ランプが 点灯しない)	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→12ページ) 断水していませんか
お湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→15ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→15ページ) 温度調節は適切ですか (→15ページ) 混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温 のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃ にセットしてください
追ひだし動作ランプが点灯しな い	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→12ページ) 断水していませんか 浴槽に水が入っていますか (デラックスタイプのふろアダプター使用の場合)
お風呂使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ)
浴槽の水があつい (ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→20ページ)
浴槽の水が少ない (多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→21ページ)
暖房がきかない (ききが悪い)	ガス栓が全開になっていますか (→12ページ) 放熱器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。
まずは次の点を確認してください。

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
追ひだしスイッチを押した後なかなかお湯が出てこない	スタンダードタイプのふろアダプターを使用していて空だきした場合、ふろ配管内に残った熱いお湯がさめるまで、開始時時間がかかることがあります。そのままお待ちください。
時計表示が合っていない	30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。
機器のオーバーフロー口から、少量の水が流れることがある	スタンダードタイプのふろアダプターを使用していて空だきした場合、構造上、一時的に水(湯)が出る場合がありますが、故障ではありません。残り湯がふろアダプターより上にあることを確認してください。
給湯栓を開けたときお湯の量が変わる	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エアー抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
床暖房を使用していないのに床が暖まることある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末(浴室暖房等)を利用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

長く使いたくあなた

故障かな?と思ったら

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内容	処置方法	使用状態	アラーム番号	内容	処置方法	使用状態
002	ガス供給なし(空燃器リセット)	燃焼栓を開いてリセット	燃焼	393	サーモカップル異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
011	給湯50分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	422	生湯量センサー異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	燃焼	543	燃焼水位検出異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
032	アブタ故障検出異常	修理を依頼する	燃焼	510	元ガス電圧故障	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
033	凍結予防水抜き異常	凍結予防栓を開いてリセット	凍結予防栓の凍結	513	暖房ガス電圧故障	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
100	燃焼異常(壁・台)	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	545	暖房回路排水異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
111	給湯側点火不良	ガス給湯器リセット	燃焼・点検なし(通・点検)	562	生湯電圧故障	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
113	暖房側点火不良	燃焼	燃焼	610	燃焼ファン回転異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
121	給湯側点火不良	燃焼・点検なし(通・点検)	燃焼	623	ポンプ異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
123	暖房側点火不良	燃焼	燃焼	650	電力分配弁異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
130	燃焼異常(壁・台)	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	652	停止水流制御異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
140	空燃器異常(壁・台)	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	681	モーションガス異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
152	追いだきやけど防止	浴槽水位を確認後リセット	浴槽水位の確認後リセット	700	ガス比例弁回路異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
170	燃焼異常(壁・台)	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	702	ふろリモコン異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
173	燃焼異常(壁・台)	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	710	ガス電圧異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
201	出湯温度サーミスタ断線	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	720	ガス比例弁回路異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
213	暖房サーミスタ断線	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	740	ガス比例弁回路異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
221	入水温度サーミスタ断線	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	750	浴室リモコン通信異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
233	凍結予防サーミスタ断線	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	760	インテリジェントバルブ通信異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
331	浴槽温度サーミスタ断線	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	763	ガス通電異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
342	ふろアブタサーミスタ断線	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	900	燃焼異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
353	暖房低温サーミスタ異常	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	903	排気リサイクル異常警報	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
362	浴湯温度サーミスタ異常	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)	990	自己診断異常	修理を依頼する	燃焼・点検なし(通・点検)
380	C.O.センサー異常	燃焼栓を開いてリセット	燃焼・点検なし(通・点検)				

※1: スタンダードタイプのアブタ使用時のみ
※2: デラックスタイプのアブタ使用時のみ

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。
※アラーム番号「152」の場合は、リセット操作を行っても解除できない場合があります。その場合は、電源リセット(電源プラグを抜いて、5秒以上経過してから、再度差し込み)を行ってください。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出る場合があります。ご連絡の際は、アラーム番号とあわせてお知らせください。
給湯側のアラーム、異常停止、警告表示の場合は給湯温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。その他のアラーム、異常停止、警告表示の場合はふろ温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。

●ご注意ください ●機器のオーバーフローから、絶えず水が流れている場合は、補給水電磁弁の故障の可能性があり。このような場合は給水元栓を開き、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号
●寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……………凍結予防装置
●バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスが自動的に停止します。(121・123)……………立消安全装置
●電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
●給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(720)……………残火安全装置
●機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140)……………過熱防止装置
●機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……………過圧防止安全装置

●アラーム番号「380-**」はC.O.センサーに関するアラームですので、このエラーが出ましたら、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●アラーム番号「380-01」「380-02」が表示されたときは、C.O.センサーの交換が必要なため、修理を依頼してください。機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅時はリモコンの給湯温度が表示されませんので、温度を確かめてから使用してください。
●アラーム番号「380-03」が表示されたときは、C.O.センサーの交換が必要なため、修理を依頼してください。機器は使用できません。
●アラーム番号「111」「121」が表示されたときは、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。
●アラーム番号「152」は、給湯栓がわずかに開いている場合にも、表示されます。その場合は、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 41～43ページの「故障かな?と思ったら」の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 型番(例) 135-T710型
(ガスの種類例えば13A)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号など)できるだけ詳しく
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容等をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のため必要部品)の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、36・37ページを参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	目次	内容
型式名	135-T700型 GH-247AABS	135-T702型 GH-247AATS
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅248×奥行380×高さ776/30	
種類	給湯方式	先止め式
類	暖房方式	温水循環方式
給排気方式	屋外強制排気方式	
設置方式	屋外設置形	
点火方式	給湯・暖房 AC100V連続放電式(タイレクト着火)	
使用水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)	
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)	
湯量	3.5ℓ/分	
燃費	0ℓ/分以上(締切り使用可)	
電気消費電力	200W	210W
凍結予防作動時	235W	
ガス給湯	20A(R3/4オネジ)	
給水・給湯	20A(R3/4オネジ)	
暖房	QF16ジョイント	
高温往き	QF16ジョイント	
高温往き	QF16ジョイント	
追いだし(注湯)	15A(G1/2オネジ)	
オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)	
電気	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心	
安全装置	ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 残火安全装置(バイメタル式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサー・水位電極)	
	過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導管保護装置(サージアブソーバー) 凍結予防装置(電気ヒーター、ポンプ運転、燃焼) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 沸騰防止装置(バイメタル)	

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}	出湯能力(最大)ℓ/min	能力kW {kcal/h}	ガス接続
使用ガスグループ	給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	暖房	
都市ガス	13A	52.3(45.000)	10.2(8.800)	20A(R3/4)
		24.0	15.0	
		13.2(11.340)	8.14(7.000)	

- ◎ ガス・JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
 ◎ 出湯能力は、水圧200kPa[2kgf/cm²]のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
 ◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	目次	内容
型式名	135-T710型 GH-167AABS	135-T712型 GH-167AATS
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅248×奥行380×高さ776/30	
種類	給湯方式	先止め式
類	暖房方式	温水循環方式
給排気方式	屋外強制排気方式	
設置方式	屋外設置形	
点火方式	給湯・暖房 AC100V連続放電式(タイレクト着火)	
使用水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)	
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)	
湯量	3.5ℓ/分	
燃費	0ℓ/分以上(締切り使用可)	
電気消費電力	180W	200W
凍結予防作動時	235W	
ガス給湯	20A(R3/4オネジ)	
給水・給湯	15A(R1/2オネジ)	
暖房	QF16ジョイント	
高温往き	QF16ジョイント	
高温往き	QF16ジョイント	
追いだし(注湯)	15A(G1/2オネジ)	
オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)	
電気	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心	
安全装置	ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 残火安全装置(バイメタル式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサー・水位電極)	
	過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導管保護装置(サージアブソーバー) 凍結予防装置(電気ヒーター、ポンプ運転、燃焼) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 沸騰防止装置(バイメタル)	

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}	出湯能力(最大)ℓ/min	能力kW {kcal/h}	ガス接続
使用ガスグループ	給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	暖房	
都市ガス	13A	45.1(38.800)	10.2(8.800)	20A(R3/4)
LPガス	45.1(3.22kg/h)	34.9(2.49kg/h)	10.2(7.73kg/h)	
		16.0	10.0	
		13.2(11.340)	8.14(7.000)	

- ◎ ガス・JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
 ◎ 出湯能力は、水圧200kPa[2kgf/cm²]のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
 ◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様一覧

【仕様表】

項目		内容			
型番	型番	135-T720型	135-T722型	135-T725型	535-T728型
型式名	型式名	GH-167AAW	GH-167AAT	GH-167AAB	GH-A167AAF
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅470×奥行240×高さ600/30			
種類	給湯方式	先止め式			
暖房方式	暖房方式	温水循環方式			
給排気方式	給排気方式	屋外強制排気方式			強制給排気方式
設置方式	設置方式	屋外設置形			屋内設置形
点火方式	給湯・暖房	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
使用水圧	使用水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)			
最低作動水圧	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)			
給湯	給湯	3.5ℓ/分			
暖房	暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)			
消費電力	定格	195W			210W
電気	凍結予防作動時	285W			300W
接続	ガス	15A(R1/2オネジ)			
	給水・給湯	15A(R1/2オネジ)			
	低温往き	QF16ジョイント			
	高温往き	QF16ジョイント			
	戻り	QF16ジョイント			
	追いだき(注湯)	15A(G1/2オネジ)			
続電	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)			
	電気	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心			
安全装置		ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 残火安全装置(バイメタル式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサー・水位電極) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導音保護装置(サージアブソーバー) 凍結予防装置(電気ヒーター、ポンプ運転、燃焼) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 沸騰防止装置(バイメタル)			

【能力表】 ※535-T728型の使用ガスは、都市ガス(13A)のみとなります。

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/min		能力kW{kcal/h}		ガス 接続
		給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	暖房	水温＋ 25℃上昇	水温＋ 40℃上昇	追いだき	暖房	
都市 ガス	13A	45.1{38,800}	34.9{30,000}	10.2{8,800}	16.0	10.0	13.2{11,340}	8.14{7,000}	15A (R1/2)
LPガス		45.1{3.22kg/h}	34.9{2.49kg/h}	10.2{0.73kg/h}	16.0	10.0	13.2{11,340}	8.14{7,000}	

◎ ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水圧200kPa[2kgf/cm²]のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。